

聖霊降臨後第22主日（特定25）（聖書協会共同訳）

全能の神よ、み子イエス・キリストは、小さい者のために行うことはわたしのために行うことになる、と教^{おし}えられました。すべての人の僕となり、わたしたちのために命を捨て、死なれたみ子のように、わたしたちにも隣り人の僕となる心をお与えください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 出エジプト記22章20-26節

22:20 寄留者を虐待してはならない。抑圧してはならない。あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである。21 いかなる寡婦も孤児も苦しめてはならない。22 あなたが彼らをひどく苦しめ、彼らが私にしきりに叫ぶなら、私は必ずその叫びを聞く。23 私の怒りは燃え上がり、あなたがたを剣で殺す。あなたがたの妻は寡婦となり、子どもは孤児となる。24 あなたのところにいる私の民、貧しい者たちに金を貸すときは、彼に対して高利貸しのようにしてはならない。彼から利息を取ってはならない。25 もしあなたの隣人の上着を質に取るようなことがあっても、日が沈むまでに彼に返さなければならぬ。26 それは、彼のただ一つの服、肌を覆う上着だからである。彼はほかに何を着て寝ることができるだろうか。彼が私に向かって叫ぶとき、私はそれを聞き入れる。私は憐れみ深いからである。

詩編 第1編

- 1 幸せな人、それは神に逆らう者の謀りごとに歩まず 罪人の道に立たず、あざける者とともに座らない人
- 2 主のおきてを喜び // そのおきてを昼も夜も思う人
- 3 流れのほとりに植えられた木のように // 時が来れば実を結び
- 4 葉もしおれることがなく // この人は何をしてもすべては実る
- 5 神に逆らう者はそうではなく // 風に飛ばされるもみ殻
- 6 神に逆らう者は審きに耐えられず // 罪人は神に従う者の集いに耐えられない
- 7 神に従う者の道は神に守られ // 神に逆らう者の道は滅びに至る

使徒書 テサロニケの信徒への手紙一 2章1-8節

2:1 きょうだいたち、あなたがた自身が知っているとおりに、私たちがあなたがたのところへ行ったことは無駄ではありませんでした。2 それどころか、知ってのとおりに、私たちは以前フィリピで苦しめられ、辱められましたが、私たちの神に勇気づけられ、激しい苦闘の中でもあなたがたに神の福音を語ったのでした。3 私たちの宣教は、迷いや不純な動機から出たものでも、策略によるものでもありません。4 私たちは神に認められて福音を委ねられたので、このように語っています。人に喜ばれるためではなく、私たちの心を吟味される神に喜んでいただくためです。5 知ってのとおりに、私たちは、こびへつらったり、口実を設けて貪ったりはしませんでした。それは、神が証ししてくださいます。6 また、あなたがたからもほかの人たちからも、人からの誉れを求めませんでした。7 私たちはキリストの使徒として重んじられることができたのですが、むしろ、あなたがたの間で幼子のようにになりました。母親がその子どもを慈しみ育てるように、8 あなたがたをいとおしむ思いから、私たちは、神の福音だけでなく、自分の命さえも喜んで与えたいと願ったほどです。あなたがたは私たちの愛する者となったからです。

福音書 マタイによる福音書 22章 34－46節

22:34 ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を言い込められたと聞いて、一緒に集まった。35 そのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。36 「先生、律法の中で、どの戒めが最も重要でしょうか。」37 イエスは言われた。「『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』38 これが最も重要な第一の戒めである。39 第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』40 この二つの戒めに、律法全体と預言者とが、かかっているのだ。」41 ファリサイ派の人々が集まっていたとき、イエスはお尋ねになった。42 「あなたがたはメシアのことをどう思うか。誰の子だろうか。」彼らが、「ダビデの子です」と言うと、43 イエスは言われた。「では、どうしてダビデが、霊を受けて、メシアを主と呼んでいるのか。44 『主は、私の主に言われた。「私の右に座れ、私があなたの敵を、あなたの足台とするときまで。」』45 このように、ダビデがメシアを主と呼んでいるのであれば、どうしてメシアがダビデの子なのか。」46 これには誰一人、言葉を返すことができず、その日からは、もはや、あえて質問する者はなかった。